



文責 本宮小校長 佐久間仁

県 P T A 研究大会 II

〔分科会（講演）〕 *要約

◇演題 子どもの Well-Being を育む人の関わりを
通して、UD（ユニバーサルデザイン）
の学校・家庭・地域づくり

講師 齋藤 忍氏（発達支援室）
「ひだまり」代表

○はじめに

・健康とは、病気でないとか、弱
っていらないということではなく、弱
肉体的にも、精神的にも、そして
社会的にも、すべてが満たされた
状態（Well-Being）に
あること。

・学校は、様々な多様性、多くの
個性によって構成される。（家庭環
境、習得スキル、教育的ニーズ、
興味関心、障害、知的発達水準、
認知特性、国籍、言語、文化、性
など） SLD（局限性学習症）、

H D（注意欠如・多動症）など、
発達障害に関する研究・臨床・教
育に携わる者にとって、Well-
Beingは当たり前の視点。

・映画「さかなのこ」のさかなく
んのように、発達障害をもちながら
も自分らしく生きている子は、
弱点を補うだけでなく、強みを育
んでもらっている。鍵は「人との
関わり」保護者・学校・地域が連
携し、正しく理解し、互いに認め
合い、高め合う中で育まれる。こ
れは、発達支援の分野では、昔か
ら目指してきたこと。Well-
Beingは当たり前の考え方。

・「やれるだけやった」と自己肯定
できる、自分を認め、自分を大切
にできる子に育っている。そのた
めには、「あなたは、あなたのま
でいいんだよ。」と言つてくれる大
人がそばにいることが必要。

○ひだまりのこと

・発達障害（SLD、ASD、A
DHなど）をもつ子どもたちが
通う施設。診断名があつても、理
解ある対応をしてもらえず、二次
障害（不登校、愛着障害など）を
引き起こすこともある。共に過ご
す中で心がけていることは、よき
理解者であること、孤立させない
こと。SST（ソーシャル・スキ
ル・トレーニング）や学習支援、

SD（自閉スペクトラム症）、AD
（注意欠如・多動症）など、
発達障害に関する研究・臨床・教
育に携わる者にとって、Well-
Beingは当たり前の視点。

・映画「さかなのこ」のさかなく
んのように、発達障害をもちながら
も自分らしく生きている子は、
弱点を補うだけでなく、強みを育
んでもらっている。鍵は「人との
関わり」保護者・学校・地域が連
携し、正しく理解し、互いに認め
合い、高め合う中で育まれる。こ
れは、発達支援の分野では、昔か
ら目指してきたこと。Well-
Beingは当たり前の考え方。

・「やれるだけやった」と自己肯定
できる、自分を認め、自分を大切
にできる子に育っている。そのた
めには、「あなたは、あなたのま
でいいんだよ。」と言つてくれる大
人がそばにいることが必要。

○ひだまりのこと

・発達障害（SLD、ASD、A
DHなど）をもつ子どもたちが
通う施設。診断名があつても、理
解ある対応をしてもらえず、二次
障害（不登校、愛着障害など）を
引き起こすことがある。共に過ご
す中で心がけていることは、よき
理解者であること、孤立させない
こと。SST（ソーシャル・スキ
ル・トレーニング）や学習支援、

面接、学校訪問など行つてている。
・背景要因を見極め、声なき声に
耳を傾けることが大切。そのため
に①自己理解を促す。②どうすれば
困難さを軽減できるか、自己支
援力を高める。③合理的配慮を求
める力の獲得などを目指している。

○認め合い高め合う学校文化の創造

・特別支援学級が学校のまん中に
あるH小学校

・教室の位置、研究紀要も最初
・管理職から教職員まで子の成長
を名前で語り合える学校

・通常学級担任が「特支の子ども
も自分の学年の子ども。スペシャル
な教育が必要だから、スペシャル
な場で、スペシャルな先生に指導
を受けている」と考えている。

・特支の研究授業を全ての教員が
参観し、事例研修で共に講師の話
を聞き学ぶ学校

・特支の研究授業で、自分の学年
の子どもが何を目標に、どのように
手立てで、何を学んでいたかを、
クラスの子どもたちに語りかける

・ほめ上手になろう（いいところ
を探してほめる。ほめるところを
つくつてほめる。よくない行動を
していないことをほめる）

・整え上手になろう（子どもが落
ち着ける環境、学びやすい環境を
つくる。ちょっとした手がかりが
あることで、できなかつたことが
できるようになることも）

・伝え上手になろう（わかりやす
い声かけ）

・教え上手になろう（行動を要素
に分ける。ちょうどよい量のお助
けをする。できたときのほめ方・
関わり方を決める）

○OUDの学校づくり

・M小学校での「みんなが分かる
ニバーサルデザインを
・その子の得意なこと、長所を伸
ばそう

・学校・家庭・地域で子育てにユ
ニバーサルデザインを
・その子の得意なこと、長所を伸
ばそう

・そのため、私たちは子どもた
ちの「良いところ応援団」に

・「学級経営」と「個別支援」は車
の両輪。「集団としての機能が失わ
れた学級」では、「個別支援」が通
用しなくなる。（逆効果も）

・授業が上手な先生の授業は、ユ
ニバーサルデザインになつてている。
(様々な手立てが講じられている)

○おわりに

・学校・家庭・地域で子育てにユ
ニバーサルデザインを
・その子の得意なこと、長所を伸
ばそう

・そのため、私たちは子どもた
ちの「良いところ応援団」に